

街角地質学

- 四大都市の石を読み解く -

定員・回数 : 35人・3回
時間・場所 : 午前 10:00~11:30・研修室
費用 : 受講料 600円
講師 : 愛知大学 法学部 教授 西本昌司

都市を彩るさまざまな建物には、世界各地から切り出された石が、石材として使われています。石材には、大地が起こした激しい地殻変動の痕跡が刻まれており、地球の歴史を読み取ることができます。少し見方を変えれば、街角のデパートの床に潜む太古の化石や、高層ビルの壁に残されたダイナミックな地殻変動の痕跡などに会えます。講座では、地球科学の視点で、四大都市の建物などから、石や石材の楽しい読み解き方を解説します。

10/16(土)	名古屋の街角地質学 名古屋では、意外な場所に貴重な石材が使われています。天下普請で集められた名古屋城の石垣や堀川にかかる橋などの歴史的建造物、栄や名古屋駅前のオフィスビル、デパート、地下街などから、使われている石と石材を探ります。おなじみの場所で、思いがけない大地変動の痕跡が見られます。
11/13(土)	京都・大阪の街角地質学 歴史の街・京都。著名な寺院の枯山水や庭園には、地元京都の石が多く使われ、伝統的な石文化が息づいています。また京都駅には、世界中から 73 種類もの石材が集められ、伝統と対をなしています。併せて、大阪城の石垣やビジネス街の貴重な国産石材などについても考察します。
12/11(土)	東京の街角地質学 政治経済の中心・東京は、時代の流れに沿って石材を求めてきた街です。江戸城の石垣、日本銀行や国会議事堂など明治以降の洋風石造建築、洋館、デパート、ホテル、オフィス街のビルや高層建築など、日本の近代化と経済発展が刻まれた街に、世界中から集められた多様な石材を読み解きます。